ほしぐみだより

2026．2．3　　すみれ幼稚園

寒さが一段と厳しくなり、暦の上では大寒を迎えました。そんな中でも子どもたちは毎日元気いっぱい、冷たい風に負けず、身体を動かしています。また、この季節ならではの氷作りに胸を膨らませたり、口く息の白さを楽しんだりと毎日沢山の発見と経験を重ねています。

今年度の園生活も残り2ケ月。最近は友だちの気持ちに気づいて声をかけたり、困っている人に自ら手をさしのべたり、クラスでの問題を子どもたち中心に話し合って解決策を導き出したりと、他者を思いやる心が育ってきていることを感じています。そんな温かい心を持った子どもたちと残りの2ケ月も一日一日を大切にしながら楽しさや喜びをみんなで分かち合っていきたいと思います。

おもちつきをたのしみました。

つく前のもち米を食べる所から始まるすみれのおもちつき。さっき食べたもち米がみるみるうちにふわふわのおもちに変化していき、出来たてを食べて「おいしい～♡」と満面の笑みを浮かべていました。

ふわふわでおいしい～♡

この後はおへやでゆっくりあんこ、きなこ、さとうじょうゆ、のりをつけて味わいました。

その次の週、まごころに杵と臼を出すと、すぐに「おもちつき大会ごっこ」がスタート。のぞいてみると、「まずはもち米をくばりますねー！」「次はおもちをつくよー！」そしてつき手と返し手に分かれてしっかりおもちをつき、その後は様々な味付けでおもちを提供してくれました。　経験が遊びへと広がる様子を見て、子どもたちは大人の姿から憧れを持ち「あんなふうになりたい！」と胸をふくらませるんだなあと…。再現度の高さに大人の方が驚いたエピソードでした。

寒波が続いたある日、子どもたちはボールやパック等に水を溜め氷づくりをするものの、次の日、ほしぐみのは氷になっていないのにかぜぐみのは氷に…。「なんで？　どうして？」と考え、「入れものがだめやったんやない！？」「風が当たらんかったんよ！！」「置く場所を変えよう！！」と次の日リベンジ！！！　様々な氷ができていて子どもたちは触って確かめたり、割ってみたりと氷の不思議さにくぎづけでした。　興味を持ち、考え、実践してみるという遊びの中で子どもたちは様々なことに気づき、興味を広げていくんですね。お部屋でも氷や雪の結晶等、冬の雰囲気を楽しんでいます。

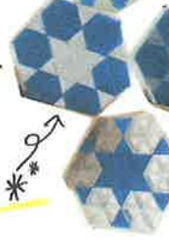
氷になっとる～！！

『きらきら』
谷川俊太郎・文
吉田六郎・絵

美しい数々の結晶にうっとり…谷川俊太郎さんの言葉も素敵で子どもも大人も楽しめます＊

↑ロンディーで雪の結晶…

プリズムでも雪の結晶＊



はさみの使い方も上手になってきたのでセロハン紙で結晶作り♪

つみ木では夢のかまくら作り！！

畑の冬野菜が豊作カブ（赤・白）、にんじん、はくさいを収穫し、後日あったかいスープにして食べました。この季節にぴったりのポカポカ温まるおいしいスープでした♡

けいこさんが「おもちが沢山余ったからおすそ分けに来たよ～」とほしぐみであべかわもちを作ってくれました♡

クッキングや分かち合いの時間を通して皆で食べることの嬉しさ、周りの人にも分けてあげたいと思う心、それにより生まれるたくさんの幸せを経験している子どもたちです。

節分に向けて、子どもたちの遊びも盛り上がっています。

←子子さんが作ったLaQの鬼！！リアルさに子どもたちもおもわず「すごー…」と目を丸くしていました♡

「アキシモ」でつくる鬼。

←「ホルツステッキ」でつくる鬼。

LaQでつくる鬼

『のりまき』小西英子・さく。まごころコーナーでも恵方巻づくりを楽しんでいます。味付けでは恵方巻にこめられた願いや食べ方を話し、子どもたちも興味津々なようでした。

横割りの時間では…（年長さん）
最近は刺しゅうが大人気！！細かい作業を集中して取りくみます。
他にも紙あみでバッグをつくったり、すごろくやカプラを楽しんだり様々です。